



## サービス配布グループ

サービス配布グループ (SDG) は、1つ以上の RF ポートの集合であり、ビデオ サービスで使用する物理スロット/ベイ/ポートを定義します。

### 内容

- [サービス配布グループに関する情報, 1 ページ](#)
- [サービス配布グループの設定方法, 2 ページ](#)
- [サービス配布グループの設定確認, 3 ページ](#)
- [トラブルシューティングのヒント, 4 ページ](#)
- [設定例, 4 ページ](#)
- [サービス配布グループの機能情報, 4 ページ](#)

## サービス配布グループに関する情報

SDG の設定に必要なコンポーネントを以下に示します。

- 複数のポート : SDG 内の複数のポートで、仮想キャリア グループ (VCG) からのすべての QAM がすべてのポートにレプリケーションされます。
- ユニキャスト : ユニキャスト (VoD) サービスをラインカード間でレプリケーションすることはできません。
- TSID : TSID は常に一意である必要があります (北米 MSO)。一意でない TSID は、ONID がデフォルト値のゼロから変更された場合に使用できます。

スロット/ベイ/ポートの仕様は次のとおりです。

- スロット : スロットはラインカードのスロット番号です。スロットは 0～3 または 6～9 の範囲で設定できます。スロット 4 と 5 はスーパーバイザ スロットです。
- ベイ : ベイは Cisco cBR-8 のシャーシ番号です。常に 0 に設定されます。

- ポート：ポートは RF のポート番号です。1～8 の範囲で設定できます。



(注) リモート PHY ラインカードの場合、SDG では RF ポートのコレクションは記述せず、ビデオの宛先であるラインカード、ベイ、ダウンストリームケーブルコントローラを指定します。**rf-port integrated-cable slot/bay/port** コマンドを **rf-port integrated-cable slot/bay/port** コマンドの代わりに使用します。1つの SDG に指定できるは1つのダウンストリームケーブルコントローラだけなので、QAM のレプリケーションはサポートされていません（ただし、コントローラは複数のリモート PHY デバイスにマルチキャストできます。これは、QAM のレプリケーションと似ていますが、cBR-8 の外側で行われます）。

## サービス配布グループの設定方法

この項では、Cisco cBR-8 のビデオセッション用の SDG の設定方法について説明します。

### 物理スロット/ベイ/ポートの定義

サービス配布グループを定義するには、ビデオサービスで使用する物理スロット/ベイ/ポートを定義する必要があります。

#### はじめる前に

SDG に使用するスロット/ベイ/ポートのコントローラタイプが「**video**」であることを確認します。SDG で不適切なコントローラタイプが使用されていることによるエラーは、バインド操作の実行時に明らかになります。

物理スロット/ベイ/ポートを定義する、次の手順に従います。

```
configure terminal
cable video
service-distribution-group sdg name
rf-port integrated-cable slot/bay/port
```

### QAM 複製の設定

DOCSIS とビデオサービス間のサービスグループサイズ調整の1つ以上のポートへの QAM 複製を設定するために、サービス配布グループ設定にポートを追加できます。

#### はじめる前に

SDG に使用するスロット/ベイ/ポートのコントローラタイプが「**video**」であることを確認します。詳細については、「**ビデオ QAM キャリア**」の項を参照してください。SDG で不適切なコントローラタイプが使用されていることによるエラーは、バインド操作の実行時に明らかになります。

QAM 複製を設定するには、次の手順に従います。

```
configure terminal
cable video
service-distribution-group service distribution group name
rf-port integrated-cable slot/bay/port
rf-port integrated-cable slot/bay/port
```

## デフォルト ONID のオーバーライド

SDG 設定で新しい ONID 値を定義することにより、デフォルトの ONID をオーバーライドできます。この設定を実行すると、設定された SDG に関連付けられているすべてのチャンネルが新しい ONID 値を持ちます。デフォルトでは、システムの ONID は（北米で一般的に使用される）0 です。

デフォルトの ONID をオーバーライドするには、次の手順に従います。

```
configure terminal
cable video
service-distribution-group service distribution group name
onid onid number
```

## デフォルト PSI 値のオーバーライド

デフォルトの PSI 値をオーバーライドするには、次の手順に従います。

```
configure terminal
cable video
service-distribution-group service distribution group name
psi-interval psi-interval msec
```

## サービス配布グループの設定確認

SDG の設定を確認するには、次の例に示すように **show cable video service-distribution-group** コマンドを使用します。

```
show cable video service-distribution-group all
Number of Service Distribution Groups: 1
ID Name Virtual-Carrier-Group Logical-Edge-Device RF-Port ONID PSI Interval
-----
Name Name
-----
1 vod vod LED 7/0/0 0 100
1 vod vod LED 7/0/1 0 100
1 vod vod LED 7/0/2 0 100
1 vod vod LED 7/0/3 0 100
1 vod vod LED 7/0/4 0 100
1 vod vod LED 7/0/5 0 100
1 vod vod LED 7/0/6 0 100
1 vod vod LED 7/0/7 0 100
```

## トラブルシューティングのヒント

設定を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。このコマンドは、間違っても何かを設定した場合に役立ちます。このエラーは、バインド操作を実行するまで明らかになりません。

## 設定例

この項では、サービス配布グループの設定例を示します。

## サービス配布グループの設定

```
configure terminal
cable video
service-distribution-group vod id 1
  onid 100
  rf-port integrated-cable 7/0/0
  rf-port integrated-cable 7/0/1
  rf-port integrated-cable 7/0/2
  rf-port integrated-cable 7/0/3
```

## サービス配布グループの機能情報

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator を使用すると、ソフトウェア イメージがサポートする特定のソフトウェア リリース、フィーチャセット、またはプラットフォームを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 次の表は、特定のソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースのみを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

表 1: サービス配布グループの機能情報

| 機能名        | リリース                        | 機能情報   |
|------------|-----------------------------|--|
| サービス配布グループ | Cisco IOS XE Everest 16.5.1 | この機能は、Cisco cBR シリーズ コンバージドブロードバンド ルータ上の Cisco IOS XE Everest 16.5.1 に統合されました。 |



